



さくらネット

令和5年11月22日

スマホ利用について考える ～ポジティブアップ、ネガティブダウン～

スマホ利用について考えた活動を二つ紹介します。県北スマホサミット、勝山中スマホサミットです。県北スマホサミット参加校共通の合い言葉は「ポジティブアップ、ネガティブダウン」。「ポジティブアップ」とは、スマホ等を適切かつ有効に利用して学習や生活をさらに充実させること、「ネガティブダウン」とは、ネット上のトラブルや長時間利用等の課題を減らすことです。その実現を目指し、新旧生徒会のメンバーを中心に、とても有意義な取組が行われました。

県北スマホサミット2023



11月1日(水)、津山教育事務所主催の県北スマホサミットが開催されました。本年度は3年生全員が参加し、オンライン上ではありましたが、他校との情報交換・意見交換を行いました。本校の発表では、旧生徒会総務役員の宮本君、山田さん、大植さんの3人が、今年度行ったアンケート調査の結果や、昨年度文化発表会で披露した寸劇の様子を紹介しました。他校の取組を聞くこともでき、有意義な時間となりました。

勝山中スマホサミット2023 ～本当にあった?怖い話～



11月17日(金)には、本校において「勝山中スマホサミット2023」を開催しました。その中では「本当にあった?怖い話」と題し、3年生を中心とした生徒会による啓発劇も披露されました。熱演でした。

劇では「課金」「質問箱での誹謗中傷」をテーマに問題提起し、さらにアンケート結果から「スマホ・ゲームの時間長すぎる問題」「家でルール決まってない問題」「ながら勉強・ながら睡眠問題」と、三つの課題を取り上げ、全校で考えました。どれも決して他人ごとではない課題です。一人ひとり改めて自分を振り返り、自身の「ポジティブアップ、ネガティブダウン」につなげてほしいと思います。

時間がない中、一生懸命準備し、当日の演技や提案に力を注いでくれた皆さんに心から拍手を送ります。